

正会員

中央地区

Table listing members in the Central region (中央地区) with columns for company name, phone number, and address.

東地区・南地区

Table listing members in the Eastern and Southern regions (東地区・南地区) with columns for company name, phone number, and address.

Table listing members in the Western region (西地区) with columns for company name, phone number, and address.

西地区

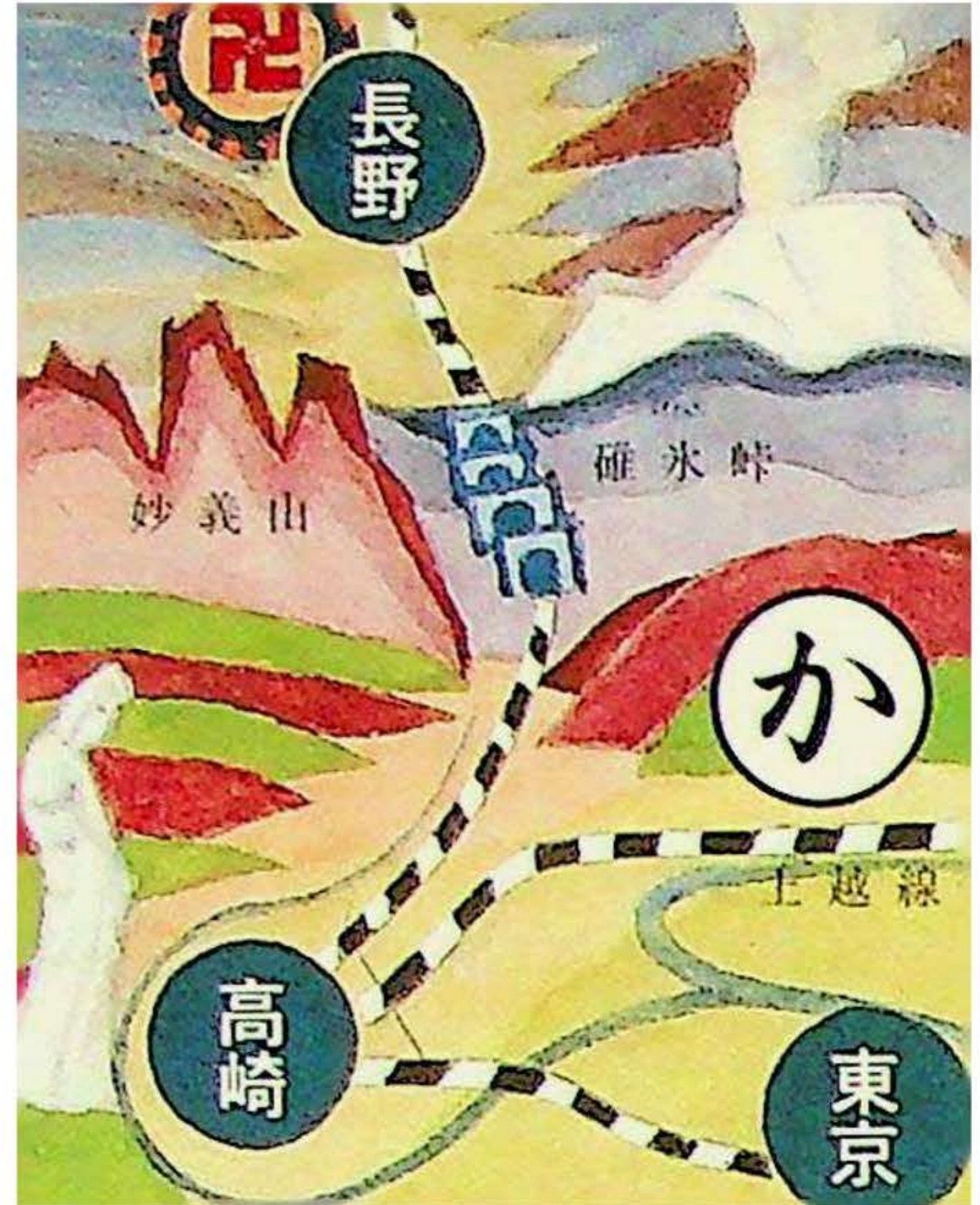
Table listing members in the Western region (西地区) with columns for company name, phone number, and address.

賛助会員

Table listing members in the Sponsors section (賛助会員) with columns for company name, phone number, and address.

会報 第41号

フロンていあ



群馬06-02058号

創立25周年記念式典の開催

令和6年5月22日、ホテルメトロポリタン高崎を会場に創立25周年記念式典を開催しました。

清水英樹新代表理事は、藤田前代表理事の卓越した指導力と代表理事としての12年間にわたる尽力により、協会の確たる地位を築き群馬県をフロン回収事業の先進県とする礎を築いた功績に感謝の意を述べ、当協会の発展と環境対策への貢献のため、精一杯努力していくとあいさつをしました。このあと、多年にわたって協会の事業運営のため貢献された会員に対し感謝状の贈呈が行われました。

記念式典終了後は、別室において多数の参加者のもと記念パーティーが催され、細谷副会長の挨拶と乾杯の発声により開宴となり親睦を深める時間を過ごすことができました。

第21回通常総会 立25周年記念 一般社団法人群馬県フロン回収事業協会



清水新代表理事あいさつ

感謝状は、次の方々に贈呈されました。

破壊量関係

- エアーズコネクト株式会社
- 栄伸工業有限会社
- エス・エー・シー有限会社
- 群馬機工株式会社
- 興和冷熱株式会社
- サンデン・リテールシステム株式会社
- 有限会社ストウエアコン
- 中西工業株式会社
- 針谷工事株式会社
- 久松商事株式会社
- 藤田テクノ株式会社
- 細谷工業株式会社
- MASAテクノサービス株式会社
- 株式会社マルミツ
- 大和メンテナンス株式会社
- 有限会社ヤマモトサービス

破壊施設関係

- 株式会社環境総研
- 株式会社カツタ

管理センター関係

- 中央地区管理センター 株式会社ヤマト
- 東地区管理センター 中西工業株式会社
- 西地区管理センター 細谷工業株式会社
- 南地区管理センター 藤田テクノ株式会社太田支店



感謝状の贈呈

お祝いの言葉をいただきました。

- 群馬県環境森林部長 前川尚子様(畠中環境保全課長 代理出席)
- 群馬大学名誉教授 西園大実様
- 協同組合群馬県機械設備工業会理事長 和田弘様



畠中一彦氏

和田弘氏

西園大実氏

記念パーティーを開催しました。

退任理事挨拶

新任理事挨拶



山田実氏

長素啓氏

梅田浩明氏



細谷副会長の発声による乾杯

第21回通常総会の開催

5月22日(月)、ホテルメトロポリタン高崎において、第21回通常総会を開催しました。

冒頭、藤田代表理事はあいさつで、「フロン問題がこれほど長期化しフロンの再生の時代が来ることは全く想像もしていなかったが、なかなか次世代冷媒が進行しない状況の中、この先フロンが不足する時代がくるのではないかと懸念もあり、今年4月よりフロンの破壊から再生に大きく舵をきるようになった。しかし、再生フロンの流通方法など、いくつか解決すべき課題がある。会員各社の知恵を借りてひとつひとつ解決していきたい。」と述べ、協力を呼び掛けた。

その後、藤田代表理事を議長に選出し、提出議題の審議に入りました。

事務局から説明のあった第1号議案から第4号議案については、いずれも原案どおり承認・可決されました。なお、今年度は役員改選期にあたり理事及び監事の改選が行われました。今総会をもって藤田実氏及び山田実氏の理事2名が退任され、理事2名が空席となっていることから、長素啓氏、梅田浩明氏、串田洋介氏、及び角田雅仁氏の4名が新しい理事に選任されました。

また、藤田代表理事の退任に伴い、代表理事及び副会長の選定が行われ、新代表理事に清水英樹氏、副会長に木村哲夫氏及び細谷可祝氏が就任されました。

代表理事を退任された藤田実氏には、星野理事から花束が贈呈されました。



星野理事から花束贈呈



藤田代表理事の退任挨拶



提出議案の審議

議事の内容

- 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和5年度収支決算報告並びに監査報告とその承認の件
- 第3号議案 令和6年度事業計画(案)決定の件
- 第4号議案 令和6年度収支予算(案)決定の件
- 第5号議案 役員改選の件
- 第6号議案 その他

新役員名簿

代表理事(会長)	清水英樹
理事(副会長)	木村哲夫 細谷可祝
理事	針谷 一 石井慎一
	外丸嘉昭 熊井戸浩一
	高木輝幸 中西力太
	田村三夫 星野尚香
	長 素啓 梅田浩明
	串田洋介 角田雅仁
監 事	狩野 聡 山本 充



事業報告 1 令和5年度 協会員によるフロン類回収量等の集計結果

	設置時充填量 kg	前年比%	設置以外充填量	前年比%
	12,240.89	62.8	21,502.44	101.5
	廃棄の際の回収量		修理(整備)の際の回収量	
全体回収量	38,028.31	130.4	5,341.33	57.1
令和5年度当初に保管していた量	2,109.26	154.5	343.53	106.3
フロン類再生業者に引き渡した量	719.55	72.0	35.80	0.8
フロン破壊業者に引き渡した量	29,207.43	138.8	1,934.75	66.3
自ら再利用した量	14.55	50.8	803.60	764.1
第49条に規定する者に引き渡した量	8,534.25	135.4	2,478.45	143.9
令和5年度末に保管していた量	1,661.79	76.9	432.26	125.8

事業報告 2 フロン排出削減認証証書・評価証書の交付

冷媒フロン類削減への取組みである「フロン排出削減認証・評価証書」が、今年度も機器所有者に対して認証センターから交付されました。機器所有者と認定事業者が一体となって、冷媒フロン類漏洩排出削減の取組みが積極的に推進され、地球温暖化防止への貢献が図られているところです。



フロン排出削減認証証書

認証・評価証書の交付を受けた機器所有者

登録番号	機器所有者	機器部	認証・評価
100001	JA全農Aコープ(株) JAファーマーズ富岡店	空調機器部門	認証
100004	群馬県同和食肉事業協同組合 高崎食肉センター		認証
100005	社会福祉法人玉樹会 介護老人福祉施設明生苑		認証
100008	(株)クリマ		認証
100009	(株)群馬銀行 本店		認証
100010	(一財)桐生織物会館		認証
100011	(株)フレッセイ 玉村店		認証
100012	(株)フレッセイ クラシード若宮	冷蔵冷凍機器部門 空調機器部門	評価 認証
100013	(株)東和銀行 本店		認証
100014	(株)田村屋	空調機器部門	認証

上記10社による令和5年度の温室効果ガス削減量は **350,795.64 CO₂ kg**です

お知らせ フロン類回収行程管理票のリニューアル

回収フロン類「再生処理」事業の開始に伴って、協会版行程管理票について改訂版を作成しました。ご使用にあたっては、下記の記載方法を参考にしてください。

会員価格 25部綴り1冊
2,000円(税抜き)

行程管理票(E票~F票)の記載方法

1 「回収量等」欄の記載

- 通常の回収作業
 - ①「 回収量等」をチェック
 - ②回収台数及び回収量を記入します。回収量ゼロでもこちらに記入します。
- 充填されていないことの確認証明
 - ①「 確認証明」をチェック
 - ②確認をした台数を記入
 (注) 充填されていないことの確認は、特殊なケースに限られます。回収作業で回収量がゼロであった場合は、確認台数ではなく回収台数とします。

E票 第一種特定製品フロン類回収行程管理票

〇引取証明書 兼 〇確認証明書

〇機器の整備・修理時の場合

〇回収量等

〇確認証明

〇処理方法及び引き渡し先

〇受入証明欄

F票 第一種特定製品フロン類回収行程管理票

〇引取証明書 兼 〇確認証明書

〇機器の整備・修理時の場合

〇回収量等

〇確認証明

〇処理方法及び引き渡し先

〇受入証明欄

2 「処理方法及び引き渡し」欄の記載

- ①「 フロン協会への引渡し」、「 自ら再生」、「 保管」のいずれかをチェック
- ②フロン協会への引渡しは、地区管理センターの別(中央・西・東・南)をチェック
- ③「容器番号」、「冷媒の種類」、「引き渡した量kg」を記入
- ④F票の「再生した量」、「破壊した量」欄には、請求書又は処理証明書からそれぞれの処理量を転記。「記録」として使用します。(この場合の保存期間は、5年間)

3 「受入証明」欄

協会が管理センターで引き取りしたフロン類の受入証明を行う欄です。フロン類(充填容器)と一緒に行程管理票を管理センターにお持ちください。

改訂版には、再生業者又は破壊業者への引渡しのチェック欄がありません。直接、再生業者又は破壊業者に引渡しする場合には、他の行程管理票を使用してください。

お知らせ 令和6年度フロン回収技術講習会を開催しました

令和6年9月6日(金) 群馬県庁29階 291会議室 受講者:32名

令和6年度上半期は、群馬県との共催によりフロン回収技術講習会(新規講習会)を開催しました。なお、講義の終了後行われた試験に合格した方には、群馬県知事名の修了証が交付され、協会からは携帯用の修了証明書(技術者証)を発行しました。



新規講習会の様子



清水代表理事の開講あいさつ



只木講師による解説

お知らせ 令和6年度下半期における技術講習会の開催予定について

令和6年度下半期は、群馬県との共催によりフロン回収技術更新講習会及びフロン類充填回収技術講習会を開催します。なお、フロン類充填回収技術講習会を受講し修了試験に合格すると、フロン類の充填と回収及び機器の点検について「十分な知見を有する者」として認められます。開催時期が近づきましたら受講案内しますので、資格取得を希望される方は、お申し込みください。



群馬県フロン回収技術更新講習会

【開催日時】 令和6年10月7日(月)及び10月9日(水)

【会 場】 群馬県庁29階 291会議室

- 【対 象 者】 1.令和元年度開催のフロン回収技術講習会(新規)を終了した方
2.令和元年度開催のフロン回収技術更新講習会を修了された方

【そ の 他】 今年度の更新講習会は対象者が多いため、3回に分けての開催となります。

群馬県フロン類充填回収技術講習会

【開催日時】 令和7年3月3日(月)

【会 場】 群馬県庁29階 294会議室

お知らせ 第24回ぐんま環境フェスティバルに出展します

ぐんま環境フェスティバルは、群馬県の素晴らしい自然、そこに生息する多様な動植物、美しい郷土の風景など、素晴らしい環境を壊すことなく、次世代に継承していくため県民一人ひとりが身近な環境を見つめ直す機会として、毎年開催されています。

当協会はオゾン層破壊・地球温暖化に影響のある冷媒フロンについて知ってもらうよい機会として、環境フェスティバルに参加出展しています。大勢の来場者に、当協会のフロン回収への活動についてわかりやすく説明し、啓蒙活動に努めます。

第24回ぐんま環境フェスティバル

【開催日時】 令和6年11月16日(土)

10:00~15:00

【会 場】 群馬県庁1階展示ホール(南)及び県民広場

新入会員をご紹介します

令和6年度上半期は、3社の新規入会がありました。

5月入会

株式会社S, MY, K (エス・マイ・ケイ)

代表取締役 小湊聡太郎

〒379-2304 太田市大原町2256-2

6月入会

株式会社エクテス

代表取締役 森田 政晴

〒370-3602 北群馬郡吉岡町大久保2892-1

有限会社エレック

代表取締役 亦野 裕明

〒371-0037 前橋市上小出町3-20-22

会員の状況

	令和5年度末	令和6年9月末
正会員A	23	23
正会員B	47	48
正会員C	83	85
賛助会員	5	5
計	158	161

令和6年度前期事業活動状況

4月

- ・「フロンていあ40号」発行、会員・関係機関へ発送
- ・三役会及び役員会の開催

5月

- ・「フロンていあ特別号」編集等について、総務委員会開催
- ・監事による会計監査
- ・「第21回通常総会及び創立25周年記念式典」開催
ホテルメトロポリタン高崎

6月

- ・(一社)静岡県フロン回収事業協会「創立30周年記念式典」
清水代表理事出席
- ・技術講習会運営委員会委員及び技術講習会講師等の打合せ会議
- ・三役会開催

7月

- ・県委託業務フロン類回収量報告書を県へ提出

9月

- ・三役会開催
- ・「群馬県フロン回収技術講習会」の開催
受講者32名(県庁291会議室)
- ・「群馬県フロン回収技術講習会」合否判定委員会
(県環境保全課山口補佐、外丸理事、高木理事、梅田理事)
- ・「フロンていあ41号」編集等について、総務委員会の開催
- ・役員会開催

親睦ゴルフコンペを開催

今年度も、会員のゴルフ愛好者による相互の親睦を兼ねて次のとおりゴルフコンペを開催します。

- 1、日 程 令和6年10月29日(火)
- 2、場 所 伊香保カントリークラブ



表紙について 「上毛かるた(じょうもうかるた)」

「上毛かるた」が誕生したのは、昭和22年12月のことです。このころは、日本が敗戦という悲しい運命に終わった翌々年で、国中が荒れ果て、食べるものも着るものも十分でなく、人びとの心は悲しみや無力感であふれていました。後に財団法人群馬文化協会の初代理事長となる浦野匡彦氏は、「このように暗く、すさんだ世の中で育つ子どもたちに何か与えたい。明るく楽しく、そして希望のもてるものはないか。」と考えていました。この想いが形となり「上毛かるた」が誕生しました。読札は公募により集められた題材から、18人の編纂委員がまとめました。絵札は小見辰男氏が描いたもので、昭和43年に本人の要望により全札が描きかえられました。読札裏の解説は、丸山清康氏によるもので、以降、定期的に新しい情報に書きかえられています。発行から半世紀以上が経ち、「上毛かるた」は、群馬県の文化として位置づけられてきています。

群馬県ホームページより <https://www.pref.gunma.jp/page/3793.html>

か:関東と信越つなぐ高崎市

お江戸見たけりゃ高崎田町と歌われた高崎市は、中仙道の宿場町として、また城下町として発達しました。現在は商工業都市、また交通都市として重要な役割を担っており、高崎駅は高崎線・両毛線・信越線・上越線・八高線及び上信電鉄が乗り入れる鉄道の要所となっています。

KING OF JMKホームページより <https://www.kingofjmk.jp/>

